

## 第20回大学職員セミナー

# 大学の教育力を支える職員の役割を問う

期 日:2009(平成21)年7月10日(金)~11日(土)

場 所:八王子セミナーハウス(東京都八王子市下柚木1987-1)

主 催:財団法人 大学セミナーハウス

協 賛:社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩

大学セミナーハウスでは、長年にわたり教育・研究機関としての大学の発展に寄与する職員の育成を目的として、「大学職員セミナー」を実施してきました。

宿泊形式で行うこのセミナーは、国・公・私立の壁を越えて大学職員が一堂に会し、今日の高等教育が直面する共通の課題を通して、「職員の役割」を考え、活発な情報交換とネットワークの構築の場となっています。

さて、1991年の大学設置基準の大綱化以来、日本の高等教育界は、一般教育の後退、大学院の量的拡大、専門職大学院の制度化、認可等の規制緩和、国立大学法人化、評価システムの導入、補助金の競争的資金化、大学の機能分化の促進、FDの義務化等々、大きな環境変貌の中にあります。

さらに、昨年12月の中教審答申「学士課程教育の構築に向けて」では、国際的に通用する「学士力」のあり方について検討が求められていて、その第3章には、学士課程教育を充実するための方策として教職員の職能開発が述べられています。

そこで、第20回を迎えた2009年度の「大学職員セミナー」では、この学士課程答申を踏まえて、「大学教育を支える職員の役割」を統一テーマに、今回は「大学の教育力」と「職員の役割」について考えます。

基調講演を学士課程答申に深く関わられた東京大学大学院の金子元久先生に、答申の解説等については文部科学省の担当官にお願いしています。また、参加者からも各大学の学士課程改革の現状報告等をしていただき、議論を深めていきたいと考えています。

### 基調講演

## 大学の教育力と職員の役割

東京大学大学院教育学研究科教授 金子元久氏

### 特別講演

## 大学職員に期待するもの

中教審答申「学士課程教育の構築に向けて」をめぐって

文部科学省高等教育局大学振興課長 義本博司氏

### 研修のスケジュール

第1日7月10日(金)	第2日7月11日(土)
13:30 開会	9:00 分科会2
13:40 基調講演	10:30 分科会3
15:10 特別講演	13:00 全体会
16:40 レポート発表	14:30 閉会
19:10 分科会1	
21:00 情報交換会	

### 研修目的

- (1) 大学の抱えている課題の検討を通して、職員の役割を考える。
- (2) 課題解決能力とプレゼンテーション力を涵養
- (3) ヒューマンネットワークの構築
- (4) 大学を取り巻く環境の最新情報を得る。

## ご参加にあたっての留意事項

- (1) 参加者全員にレポート(A4・1枚程度)を事前に提出いただきます。ご自分の大学の事例等とご自身の考えを述べていただいて結構です。
- (2) 「レポート発表」は、事前レポートのうちから数名の方をお願い致します。
- (3) 「分科会」は同一テーマの下に、事前レポートを中心に行います。
- (4) 「全体会」は、分科会の報告と討論を行います。

## 企画委員

<委員長> (社)学術・文化・産業ネットワーク多摩常務理事 程島俊介  
中央大学総合企画本部担当部長・大学行政管理学会会長 横田利久  
首都大学東京管理部教務課長 加藤洋子  
名古屋大学高等教育研究センター教授 夏目達也

## 募集要項

- 募集対象： これから大学を担う若手・中堅、また熱意ある職員  
募集人員： 50名  
参加費： 25,000円(宿泊・食事・消費税を含む)  
申込締切： 7月3日(金)  
申込方法： ホームページ掲載のお申込みフォームに必要事項をご記入の上、お申込み下さい。折り返しご案内のメールをお送りします。連絡がない場合は電話でご確認下さい。  
その他： セミナーの前日またセミナー終了後、宿泊を希望される方は、下記までご連絡下さい。

## 交通

東京駅より約1時間半、羽田空港より約2時間。詳しい地図はホームページの [交通案内](#) をご覧下さい。

## お問合せ

財団法人大学セミナーハウス企画広報課  
TEL:042-676-8532(直通) FAX:042-676-1220  
E-mail:kikaku-koho@seminarhouse.or.jp  
URL: <http://www.seminarhouse.or.jp>